

平成5年11月中医協了解以降に市場拡大再算定、効能変化再算定、用法用量変化再算定等を行った品目及びその理由

実施年	銘柄名	成分名	品目数	再算定の理由	加算 <sup>*注)</sup> の有無	備考	
平成 6年	フェロン	注射用乾燥インターフェロン-β	2	使用方法、適用対象患者の範囲等の変化による市場規模の拡大		平成5年11月の中医協了解事項に基づく	
	スミフェロン	インターフェロン-α注射液 (NAMALWA)	2	使用方法、適用対象患者の範囲等の変化による市場規模の拡大			
	キャンフェロンA、ロフェロンA	注射用乾燥インターフェロン-α-2a (組換え型)	4	使用方法、適用対象患者の範囲等の変化による市場規模の拡大			
	イントロンA注射用	注射用乾燥インターフェロン-α-2b (組換え型)	3	使用方法、適用対象患者の範囲等の変化による市場規模の拡大			
	メバロチン錠、同細粒	ブラバスタチンナトリウム	4	使用方法、適用対象患者の範囲等の変化による市場規模の拡大			
	リポバス錠	シンバスタチン	1	使用方法、適用対象患者の範囲等の変化による市場規模の拡大			
	I FN βモチダ	注射用乾燥インターフェロン-β	2	効能追加による市場規模の拡大			
	オーアイエフ、I FN αモチダ	注射用乾燥インターフェロン-α (BALL-1)	3	効能追加による市場規模の拡大			
平成 7年	エパデールカプセル	イコサペント酸エチル	1	効能追加による市場規模の拡大			平成7年11月の中医協建議に基づく
平成 8年	ハルナールカプセル	塩酸タムシロシン	2	市場規模が当初の予測を著しく上回る			
	キネダック錠	エパルレスタット	1	市場規模が当初の予測を著しく上回る			
	パルクス注、リプル	アルプロスタジル	4	市場規模が当初の予測を著しく上回る			
	ジェノトロピン、同カビクイック	ソマトロピン (遺伝子組換え)	6	市場規模が当初の予測を著しく上回る			
	フルデイトロピン注射用、ペン用フルデイトロピン	ソマトロピン (遺伝子組換え)	3	市場規模が当初の予測を著しく上回る			
	ヒューマトローブ	ソマトロピン (遺伝子組換え)	1	市場規模が当初の予測を著しく上回る			
	サイゼン注	ソマトロピン (遺伝子組換え)	1	市場規模が当初の予測を著しく上回る			
	グロウジェクト注	ソマトロピン (遺伝子組換え)	1	市場規模が当初の予測を著しく上回る			
	リュープリン注射用3.75	酢酸リュープロレリン	1	効能追加による市場規模の拡大			
	アルツ、同ディスポ	ヒアルロン酸ナトリウム	2	市場規模が当初の予測を著しく上回る			
	キサンボン注、注射用カタクロット	オザグレナトリウム	2	効能追加による市場規模の拡大			
	エスポー注射液、同皮下用	エポエチン α (遺伝子組換え)	6	市場規模が当初の予測を著しく上回る			
エポジン注	エポエチン β (遺伝子組換え)	3	効能追加による市場規模の拡大				
塩酸バンコマイシン点滴静注用	塩酸バンコマイシン	1	市場規模が当初の予測を著しく上回る				
イオパミロン150、同300、同370	イオパミドール	8	市場規模が当初の予測を著しく上回る				
オムニパーク140、同180、同240、同300、同350、同240シリンジ、同300シリンジ	イオヘキソール	17	市場規模が当初の予測を著しく上回る				
オプチレイ160、同240、同320、同350	イオベルソール	13	市場規模が当初の予測を著しく上回る				
イオメロン300、同350、同400	イオメプロール	9	市場規模が当初の予測を著しく上回る				
平成 9年	プログラフカプセル	タクロリムス水和物	2	効能追加による市場規模の拡大			効能効果変化再算定 用法用量変化再算定 用法用量変化再算定の特例 用法用量変化再算定の特例
平成10年	セルベックス細粒、同カプセル	テプレノン	2	効能追加による市場規模の拡大			
	ムコスタ錠	レバミピド	1	効能追加による市場規模の拡大			
	ゾピラックス顆粒、同錠	アシクロビル	3	効能追加による市場規模の拡大			
平成12年	ゾラデックス3.6mgデポ	酢酸ゴセレリン	1	市場規模が当初の予測を著しく上回る			
平成14年	アザチオプリン錠	アザチオプリン	1	効能の変化			
	リスバダール錠、同細粒	リスバリドン	3	用法用量の変更			
	フェロン、I FN βモチダ	注射用乾燥インターフェロン-β	6	保険適用上の投与期間の変更			
	スミフェロン、同DS	インターフェロン-α注射液 (NAMALWA)	4	保険適用上の投与期間の変更			

実施年	銘柄名	成分名	品目数	再算定の理由	加算 <sup>*注</sup> の有無	備考
	キャンフェロンA、ロフェロンA	インターフェロン- $\alpha$ -2a (遺伝子組換え)	6	保険適用上の投与期間の変更	/	用法用量変化再算定の特例
	イントロンA注射用	インターフェロン- $\alpha$ -2b (遺伝子組換え)	3	保険適用上の投与期間の変更		用法用量変化再算定の特例
	オーアイエフ、IFN $\alpha$ モチダ	インターフェロン- $\alpha$ (BALL-1)	6	保険適用上の投与期間の変更		用法用量変化再算定の特例
	アドバフェロン注射液	インターフェオンアルファコン-1 (遺伝子組換え)	2	保険適用上の投与期間の変更		用法用量変化再算定の特例
平成18年	アリセプト錠、同D錠、同細粒	塩酸ドネパジル	5	市場規模が当初の予測を著しく上回る	A=5 ( $\alpha=0.0511$ )	市場拡大再算定
	オメプラール錠、オメプラゾン錠	オメプラゾール	4	効能追加による市場規模の拡大	無	市場拡大再算定
	タケブロンカプセル、同OD錠	ランソプラゾール	4	効能追加による市場規模の拡大	無	市場拡大再算定
	バリエット錠	ラベプラゾールナトリウム	2	効能追加による市場規模の拡大	無	市場拡大再算定
	ランサップ	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	2	市場拡大再算定類似品 (タケブロン <sup>®</sup> の市場拡大再算定類似品)	無	市場拡大再算定
	タミフルカプセル、同ドライシロップ	リン酸オセルタミビル	2	市場規模が当初の予測を著しく上回る	無	市場拡大再算定
	レバトールカプセル	リバビリン	1	市場規模が当初の予測を著しく上回る	無	市場拡大再算定
	リツキサシ注	リツキシマブ (遺伝子組換え)	2	市場規模が当初の予測を著しく上回る	A=5 ( $\alpha=0.0250$ )	市場拡大再算定
平成20年	プロプレス錠	カンデサルタン シレキセチル	4	市場規模が当初の予測を著しく上回る	A=7.5 ( $\alpha=0.0375$ )	市場拡大再算定
	ディオバン錠	バルサルタン	4	市場拡大再算定類似品 (プロプレス錠の市場拡大再算定類似品)	A=7.5 ( $\alpha=0.0375$ )	市場拡大再算定
	ミカルディス錠	テルミサルタン	2	市場拡大再算定類似品 (プロプレス錠の市場拡大再算定類似品)	A=7.5 ( $\alpha=0.0375$ )	市場拡大再算定
	ニューロタン錠	ロサルタンカリウム	2	市場拡大再算定類似品 (プロプレス錠の市場拡大再算定類似品)	A=7.5 ( $\alpha=0.0375$ )	市場拡大再算定
	オルメテック錠	オルメサルタン メドキシミル	3	市場拡大再算定類似品 (プロプレス錠の市場拡大再算定類似品)	A=7.5 ( $\alpha=0.0375$ )	市場拡大再算定
	プレミネント錠	ロサルタンカリウム・ヒドロクロチアジド	1	市場拡大再算定類似品 (プロプレス錠の市場拡大再算定類似品)	A=7.5 ( $\alpha=0.0375$ )	市場拡大再算定
	パキシル錠	塩酸パロキセチン水和物	2	市場規模が当初の予測を著しく上回る	無	市場拡大再算定
	デプロメール錠、ルボックス錠	マレイン酸フルボキサミン	4	市場拡大再算定類似品 (パキシル錠の市場拡大再算定類似品)	無	市場拡大再算定
	ジェイゾフト錠	塩酸セルトラリン	2	市場拡大再算定類似品 (パキシル錠の市場拡大再算定類似品)	無	市場拡大再算定
	レミケード点滴静注用	インフリキシマブ (遺伝子組換え)	1	市場規模が当初の予測を著しく上回る	A=5 ( $\alpha=0.0250$ )	市場拡大再算定
	プログラフカプセル、同顆粒	タクロリムス水和物	5	市場規模が当初の予測を著しく上回る	無	市場拡大再算定
	合計			195		
			16	使用方法、適用対象患者の範囲等の変化による市場規模の拡大		
			98	市場規模が当初の予測を著しく上回る		
			30	効能追加による市場規模の拡大		
			1	効能の変化		
			3	用法用量の変更		
			27	保険適用上の投与期間の変更		
			20	市場拡大再算定類似品		

注) 平成16年度改定から、市場拡大再算定対象品について、市販後に集積された調査成績により、真の臨床的有用性が直接的に検証されている場合、再算定による薬価引下げ率を緩和(加算)するルールが導入されている。

A: 加算率(%)、 $\alpha$ =市場拡大再算定対象品の市場規模に応じた傾斜配分に基づく実際の補正加算率